

エコドライブ推進の取り組み

□背景 — 京都議定書の発効及び京都議定書目標達成計画の策定 —
目標達成（2008年から2012年の間に、1990年比－6％）のためには、より効率的な自動車交通を実現する道路政策の推進が必要不可欠である。



□今後の課題
道路政策によるCO₂排出削減効果を明らかにするとともに、その体系的かつ着実な推進が必要である。



□CO₂アクションプログラムの推進
— 2012年までに緊急的な道路政策を実施 —
目的：道路交通によるCO₂排出量削減に資する施策を確実に実施・遂行するため
計画期間：2006年度（平成18年度）～2012年（平成24年度）の7年間
削減目標：2010年（平成22年度）までに約5.4万トン-CO₂/年の削減を目指す。

※自動車単体燃費向上施策

同程度の平均旅行速度でもアイドリングストップ等を行うことにより、CO₂排出量が削減されることから、低公害車・低燃費車の導入やエコドライブ等の自動車単体での燃費向上策も推進する。



□エコロード・キャンペーン（国土交通省）（H18～H19年度）
国民の協力が不可欠な施策については、ポスター・ステッカー等を活用するとともに、HP、マスメディア、各種イベントによる情報発信を行う。



□沖縄県におけるエコドライブ推進の取り組み（那覇都市圏渋滞対策WG）
CO₂排出量削減に向けた各施策をより効果的なものにするためには、道路交通利用者である県民の協力が不可欠であり、本年度も引き続きHP、メディアを通してエコドライブの普及促進を図る。